

水の郷・日野塾

第1期が修了、今月から第2期が始まります

日野市と法政大学の連携事業で開催しました、水の郷・日野塾の第1期(2010年11月～2011年7月、全10回、主催は法政大学エコ地域デザイン研究所)が修了しました。第8回までは、今回の連携事業で出版した『水の郷・日野―農ある風景の価値とそ  
の継承』をテキストとして著者による講演を行い、その後に参加者で講演内容をテーマにした意見交換をしました。

第1期のまとめとして、残りの2回で取り組んだのは、参加者が中心となり地域資源を発掘するマップづくりです。

マップづくりでは、参加者の住まいに近い用水で3つのグループ(豊田用水班、向島用水班、平山・南平用水班)を作り、良いと思う地域資源(緑、用水、農地、生き物など)を挙げてもらい、地図にプロットする作業をしてまち歩きルートを決めました。

第9回では、普段は見にいけない仲田の森や石坂ファーム

などの市内見学を全員で行った後、各グループで作成した地図を手にまち歩きを行いました。プロットした地域資源を現地を確認し、歩くことで発見した地域の魅力を地図に書き込みながらマップづくりの素材集めを行いました。最後の第10回では、前回のまち歩きを振り返り、魅力や改善点、まち歩きのテーマをグループごとに発表してもらいました。

第1期を終えた参加者からは、「地理に興味があり、地元というところで参加したが、これほど日野の農業・景観・将来像を多面的に深く学べたのは驚き」「湧水・用水をどのようにに護るか。その他諸々についていろいろ考える時間を持つ機会を得た」など参加して良かった、今後も地域に貢献していきたいという感想が多くありました。

今月から水の郷・日野塾の第2期が始まります。第2期では、第1期の後半に取り組

んだマップづくりを本格的に進めていく予定です。作成するマップのエリアを10カ所ほど選定し、各エリアの地域資源を発掘しながら地図にまとめていきます。第2期も引き続き、法政大学の学生も参加する予定です。参加者と協力しながら、新たな視点で市内の埋もれた魅力を発見していきたいと考えています。マップづくりの成果は、来年3月に開催予定のシンポジウムで発表する予定となっています。お楽しみに。

石渡 雄士(法政大学)

水の郷・日野塾ブログ

(<http://hinojuku.blog98.fc2.com>)



水の郷・日野塾修了後の集合写真 (撮影：蓮見和紀)

遊具の点検について

こんにちは。公園係☆です。今回は公園の遊具点検について説明したいと思います。

公園にはすべり台、ブランコ、ジャングルジムをはじめ色々な遊具があり、(最近は大人数向けの健康遊具も多いです。)安全に利用してもらうために、年に数回職員や業者委託で作業を行っています。

点検の基本は①目視(よく見る)、②触診(触ってみる)、③打診(検査用のテストハンマーという先の尖った専用のハンマーで叩く)です。

ブランコを例にとってみるとまず全体を良く見て、チェーンが外れていないか(チェーンの連結部の磨耗も大事な点検部分です)、座板が壊れていないか(固定用のボルトが緩んでいないか)、支柱の塗装が剥けていないかを確認します。

次に動かし  
てみて、きち  
んと動くか、  
変な音はしな  
いか、外れな  
いかを確認し  
ます。



最後にテストハンマーで軽く叩いてクラックがないか、腐食していないか調べて終了です。

材質は主に鉄の部分と、木の出来ている部分があり、一番多いのが、鉄の部分はさびによる腐食です。塗装してありますが、土の中に埋まっている部分はさびが早いし、地上すぐの部分は長年の雨風、動物の排泄物(これが意外と強敵)等によりさびてもろくなる場合が多く、場合によっては穴が開いたり折れたりすることもあります。

木の部分は、部品を止めている箇所が減ってネジや釘が抜けたり、部品そのものが折れたり、欠けたり、中には燃やされる!こともあります。

修理は職員で出来るものは職員で、出来ないものは業者に修理を依頼しますが、場合によっては長期間使用中止にしたり、遊具そのものを撤去する場合もあります。

気をつけて点検を行っています。点検では見つからないこともあります。見つけた場合は連絡をいただければ対応しますのでよろしくお願ひします。

(☆)